

ゲノム創薬学分野

論文

A 欧文

A-e

1. Shirovani K, Higuchi E, Yoshizaki R, Matsuo K, Asai M, Saito T, and Iwata N.: Study on signal transduction from microglial receptor TREM2, a new risk factor of Alzheimer's disease. The 19th Takeda Science Foundation Symposium on Bioscience (Osaka, Japan) Abstract No. Poster 049 (p. 117) Jan 20, 2018
2. Shirovani K.: Signal transduction and ligands of TREM2 receptor, a common risk factor of neurodegenerative disorders. 1st Trento-Nagasaki Symposium The protein-misfolding & Neurodegenerative disorders (Nagasaki, Japan) September 28, 2018

B 邦文

B-b

1. 城谷圭朗、岩田修永：アミロイドβ 起源 Clinical Neuroscience 35(1): 56-58, 2018

B-c

1. 八田大典、岩田修永：「第3節 ウイルスベクター等を用いたアルツハイマー病の遺伝子治療法の開発」アルツハイマー病：発症メカニズムと新規診断法・創薬・治療開発（編集 新井 平伊）（第2編 診断から予防への取組み 第5章 新規治療法の開発）株式会社 エヌ・ティー・エス（千葉） pp. 339-247 (2018)

B-e

1. 永井大己、八田大典、堀 祐真、地内友香、渡辺かおり、木下 晃、黒滝直弘、小澤寛樹、吉浦孝一郎、城谷圭朗、岩田修永：てんかん発作及び不随意運動に関連する PRRT2 とプレシナプス小胞タンパク質 SYNGR3 の共局在性の解析. 第35回日本薬学会九州支部大会（福岡）抄録集 1-B-02 (p. 23) 2018
2. 城谷圭朗、齊藤 隆、長田重一、Marco Colonna、岩田修永：アルツハイマー病危険因子 TREM2 のリガンドと細胞内シグナリング解析. 第37回日本認知症学会学術集会（札幌）抄録集 074 (p.179) 2018
3. 堀 祐真、渡辺かおり、地内友香、太田遼佑、高宮優真、Asmaa Said Ali Yassen、Hao Qian、八田大典、城谷圭朗、田中隆、岩田修永：ネプリライシン活性増強化合物の構造至適化. 第37回日本認知症学会学術集会（札幌）抄録集 114 (p.189) 2018
4. 堀 祐真、地内友香、渡辺かおり、太田遼佑、高宮優真、Asmaa Said Ali Yassen、Hao Qian、八田大典、城谷圭朗、田中 隆、岩田修永：Aβ 分解酵素ネプリライシン活性増強化合物の構造至適化. 第91回日本生化学会大会（京都）抄録集 2T13m-08, 2P-334, 2018
5. 城谷圭朗、岩田修永：ミクログリアに発現するアルツハイマー病危険因子 TREM2 の細胞内シグナリング機構の解析. 第40回日本生物学的精神医学会/第61回日本神経化学会大会合同年会（神戸）抄録集 シンポジウム SY30-2 (p.78) 2018
6. 八田大典、永井大己、堀祐真、地内友香、渡辺かおり、木下 晃、黒滝直弘、小澤寛樹、吉浦孝一郎、城谷圭朗、岩田修永：てんかん及び不随意運動の原因遺伝子 PRRT2 の大脳基底核における役割. 第17回次世代を担う若手フェーマ・バイオフィォラム 2018（熊本）抄録集 1B13 (p.63) 2018
7. 沖田 啓、堀 祐真、渡辺かおり、地内友香、太田遼佑、高宮優真、Asmaa Said Ali Yassen、Hao Qian、八田大典、城谷圭朗、田中 隆、岩田修永：アルツハイマー病の創薬研究. Aβ 分解酵素ネプリライシン増強化合物の構造至適化. 第42回蛋白質と酵素の構造と機能に関する九州シンポジウム（佐賀）抄録集 P-21 (p.49) 2018
8. 岩田修永、堀 祐真、太田遼佑、高宮優真、渡辺かおり、地内友香、八田大典、Hao Qian、Asmaa Said Ali Yassen、沖田 啓、城谷圭朗、田中 隆：ネプリライシンの発現を増強する脂溶性カテキン誘導体の構造至適化と構造活性相関. 第23回日本病態プロテアーゼ学会学術集会（甲府）抄録集 28 (p.41) 2018
9. 八田大典、永井大己、堀 祐真、地内友香、渡辺かおり、木下 晃、黒滝直弘、小澤寛樹、吉浦孝一郎、城谷圭朗、岩田修永：ジスキネジア及びてんかん関連分子 PRRT2 の大脳基底核における役割. 第41回日本神経科学大会（神戸）抄録集 1P-155, 2018
10. 堀 祐真、渡辺かおり、地内友香、沖田 啓、菅 嶺馬、八田大典、Yassen Asmaa Said Ali、Qian Hao、城谷圭朗、田中隆、岩田修永：脳内ネプリライシン活性増強によるアルツハイマー病根本的治療薬の開発. 第41回日本神経科学大会（神戸）抄録集 2P-327, 2018
11. 城谷圭朗、齊藤 隆、長田重一、Marco Colonna、岩田修永：アルツハイマー病危険因子 TREM2 のリガンドおよびシグナル伝達機構の解析. 平成30年度日本生化学会九州支部例会（福岡）O12 (p. 46) 2018
12. 世良田 星、高島志風、渡辺かおり、地内友香、城谷圭朗、岩田修永：ネプリライシンの細胞内ドメインのリン酸化による活性および局在変化の解析. 平成30年度日本生化学会九州支部例会（福岡）P25 (p. 73) 2018

13. 八田大典、永井大己、堀 祐真、渡辺かおり、地内友香、木下 晃、黒滝直弘、小澤寛樹、吉浦孝一郎、城谷圭朗、岩田修永：てんかん及びジスキネジア関連因子 PRRT2 の大脳基底核における機能. 平成 30 年度日本生化学会九州支部例会（福岡）抄録集 P36 (p. 78) 2018
14. 堀 祐真、渡辺かおり、地内友香、太田遼佑、高宮優真、Asmaa Said Ali Yassen、Hao Qian、八田大典、城谷圭朗、田中 隆、岩田修永：ネプリライシン発現増強化合物の構造至適化. 平成 30 年度日本生化学会九州支部例会（福岡）抄録集 P42 (p. 81) 2018
15. 岩田修永：孤発性アルツハイマー病アミロイド蓄積の原因に即した治療薬と診断用バイオマーカーの開発. 平成 29 年度 脳とこころの研究 第三回公開シンポジウム（東京）要旨集 p25, 2018

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	1	1	0	1	14

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
岩田修永・教授	学術評議員	日本薬理学会
岩田修永・教授	評議員、基礎研究促進委員、財務委員	日本認知症学会
岩田修永・教授	Regional Editor	Current Neuropharmacology
岩田修永・教授	Editorial Board	International Journal of Clinical and Experimental Pathology
岩田修永・教授	Editorial Board	Open Pharmacology Journal
岩田修永・教授	Editorial Board	Scientific Reports
岩田修永・教授	評議員	日本神経精神薬理学会
岩田修永・教授	評議員	日本生化学会、日本生化学会九州支部
岩田修永・教授	評議員	日本病態プロテアーゼ学会
岩田修永・教授	幹事	日本薬学会九州支部
岩田修永・教授	学術奨励賞選考委員	日本薬学会九州支部
岩田修永・教授	学会賞幹事兼教育賞幹事	日本薬学会
岩田修永・教授	シンポジウムオーガナイザー	第 37 回日本認知症学会学術集会
岩田修永・教授	組織委員	第 6 回アジア神経精神薬理学会大会
岩田修永・教授	プログラム委員	第 42 回日本神経科学大会/第 62 回日本神経化学会大会
岩田修永・教授	科学研究費委員会専門委員	独立行政法人日本学術振興会
岩田修永・教授	H30 年度大学院生合宿研修 世話人代表	九州薬科学研究教育連合
岩田修永・教授	第 2 回せりか基金賞選考委員	一般社団法人せりか基金
城谷圭朗 ・准教授	代議員	日本薬学会
城谷圭朗 ・准教授	代議員	日本認知症学会
城谷圭朗 ・准教授	倫理委員会委員	日本認知症学会
城谷圭朗 ・准教授	H30 年度 大学院生合宿研修 世話人	九州薬科学研究教育連合

競争的資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
岩田修永・教授	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構	代表	脳科学研究戦略推進プログラム（融合脳） 孤発性アルツハイマー病アミロイド蓄積の原因に即した治療薬と診断用バイオマーカーの開発
岩田修永・教授	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構	分担	認知症研究開発事業 食品関連の危険因子・防御因子が作用する認知症の分子標的の解明と予防・治療法の開発
岩田修永・教授	独立行政法人 日本学術振興会	代表	基盤研究 (B) 痙攣性神経疾患関連遺伝子 PRRT2 のシナプスにおける病態生理学的役割の解明
岩田修永・教授	金印株式会社	代表	わさび成分による抗アルツハイマー病作用の研究
岩田修永・教授	大正製薬（株）共同研究	分担	TREM2 の神経変死疾患治療標的としての可能性の検討
岩田修永・教授	大正製薬（株）共同研究	分担	TREM2 リガンドのハイスループット評価系の構築
岩田修永・教授	富士フィルム（株）共同研究	分担	T-817MA およびその類縁体を用いた TREM2 の評価
城谷圭朗 ・准教授	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構	分担	脳科学研究戦略推進プログラム（融合脳） 孤発性アルツハイマー病アミロイド蓄積の原因に即した治療薬と診断用バイオマーカーの開発
城谷圭朗 ・准教授	独立行政法人 日本学術振興会	代表	基盤研究 (C) 血液でアルツハイマー病を超早期に診断する
城谷圭朗 ・准教授	大正製薬（株）共同研究	代表	TREM2 の神経変死疾患治療標的としての可能性の検討
城谷圭朗 ・准教授	大正製薬（株）共同研究	代表	TREM2 リガンドのハイスループット評価系の構築
城谷圭朗 ・准教授	富士フィルム（株）共同研究	代表	T-817MA およびその類縁体を用いた TREM2 の評価

特 許

氏名・職	特 許 権 名 称	出願年月日	取得年月日	番号
岩田修永・教授	Therapeutic Agent for Alzheimer's Disease.	2015.11.6	2018.5.29	US patent 9980937
城谷圭朗 ・准教授	Therapeutic Agent for Alzheimer's Disease.	2015.11.6	2018.5.29	US patent 9980937

その他

○特筆すべき事項

- 平成 30 年度日本生化学会九州支部例会（福岡） 優秀ポスター発表賞：
八田大典、永井大己、堀 祐真、渡辺かおり、地内友香、木下 晃、黒滝直弘、小澤寛樹、吉浦孝一郎、城谷圭朗、岩田修永：てんかん及びジスキネジア関連因子 PRRT2 の大脳基底核における機能. 抄録集 P36 (p. 78) 2018